



Cisco Vision Dynamic Signage Director の 新規インストール

このモジュールでは、VM(仮想マシン)に Cisco Vision Dynamic Signage Director をインストールする要件について説明します。

注意: Cisco.com からダウンロードした完全な ISO イメージアップグレードではないから Cisco Vision Dynamic Signage Director リリース ソフトウェアをインストールし、リリース済みの製品バージョンの Cisco Vision Dynamic Signage Director を実行する必要があります。

このモジュールでは、次のトピックについて取り上げます。

- [前提条件\(15 ページ\)](#)
- [必須:リリース 6.1 からリリース 6.2 へのデータの移行\(16 ページ\)](#)
- [インストール作業\(23 ページ\)](#)
- [次の作業\(24 ページ\)](#)

前提条件

ソフトウェア リリースのハードウェアおよびソフトウェア要件、変更、重要事項、および警告の最新情報については、『[Release Notes for Cisco Vision Dynamic Signage Director 6.2](#)』を参照してください。

サーバをアップグレードする前に、次の要件を満たしていることを確認します。

- Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバでのイーサネット接続設定に必要な、次のネットワーク情報がある。
 - IP アドレス(IPv4 のみ)およびネットワーク マスク

注: Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバは、静的 IP アドレスまたは有効期限内の DHCP リースを使用して設定する必要があります。

 - デフォルト ゲートウェイ アドレス
 - DNS サーバのアドレス
 - ホストネーム
- Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバはネットワークに接続され、電源が供給されている。
- サーバの電源を入れ、インストール前に BIOS(起動中に F2 を押す)でブート順序を確認する。

必須: リリース 6.1 からリリース 6.2 へのデータの移行

- ソフトウェア インストールで Cisco Integrated Management Controller(CIMC)にアクセスするために、次の要件を満たしている。
 - コンピュータが Cisco Vision Dynamic Signage Director の最小ブラウザ要件および最小フラッシュ プレーヤー要件を満たしている。また、Java 1.6 移行もインストールされている。
 - Cisco Vision Dynamic Signage Director ネットワークにアクセスできるラップトップがある。
 - Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバの CIMC インターフェイスの IP アドレスを把握している。
 - CIMC インターフェイスのログイン クレデンシャルがある。デフォルトのクレデンシャルは **admin** と **password** です。

仮想サーバ環境

仮想サーバ環境での Cisco Vision Dynamic Signage Director のインストールには、サーバ環境の設定、Cisco Vision Dynamic Signage Director の完全な ISO の実行、およびネットワークの設定が含まれます。詳細については、[Cisco Vision Dynamic Signage Director のインストールまたはアップグレードの開始\(9 ページ\)](#)のハードウェアの前提条件(10 ページ)および仮想サーバへの新規インストール(12 ページ)を参照してください。

必須: リリース 6.1 からリリース 6.2 へのデータの移行

注: 6.2 のインストール(フル ISO)イメージは cisco.com で公開されていません。リリース 6.2 のインストール イメージを取得するには、cvupgrades@cisco.com に電子メールを送信して cisco.com のユーザ ID とアップグレードするサイトをお知らせください。

データを所有している既存のお客様の場合は、このインストールで以前の DSD バージョンから最新のリリースにデータを移行することになります。これらの手順を実行しない限り、以前のデータはリリース 6.2 のインストール時に失われます。これは、自動の増分アップグレード手順とは異なります。リリース 6.2 には、まったく新しいインストールとデータ移行に焦点を絞った新しいオペレーティング システムが含まれています。

重要: リリース 6.2 では、フル ISO インストールのみがサポートされます。このリリースへのアップグレードはありません。

Cisco Vision Director は、仮想マシン(VM)環境内にインストールされます。6.2 リリースでは、VM 環境を使用してリリース 6.1 からデータを移行します。リリース 6.2 には、完全なインストールを必要とする新しいオペレーティング システムが含まれています。これは、Cisco Vision Dynamic Signage Director の 2 番目のインスタンスを作成してセカンダリとして設定し、プライマリ Cisco Vision Director ソフトウェアの完全なバックアップを行うことを意味します。

概要

- 推奨される手順では、プライマリ サーバとセカンダリ サーバの冗長設定を使用します。
- リリース 6.1 は通常のプライマリ/セカンダリ バックアップ コピー メカニズムを使用して、リリース 6.2 システムに設定をバックアップします。
- 新しいリリース 6.2 システムをセカンダリ サーバとして設定します(セカンダリ サーバがまだ存在していない場合)。
- 新しいプライマリ Cisco Vision Director が期待どおりに機能していることを確認します。
- セカンダリ Cisco Vision Director をリリース 6.2 に移行します。

リリース 6.1 SPn を実行している単一サーバまたはプライマリ サーバのデータをリリース 6.2 の新規 ISO インストールを含む新しいサーバまたはセカンダリ サーバで保持する必要があります。次の前提条件が適用されます。

- Cisco Vision Director の要件に一致する 2 つの仮想マシンがあり、2 番目の VM にリリース 6.2 が用意される。
- 両方のマシンがネットワークを介して相互に到達可能である。

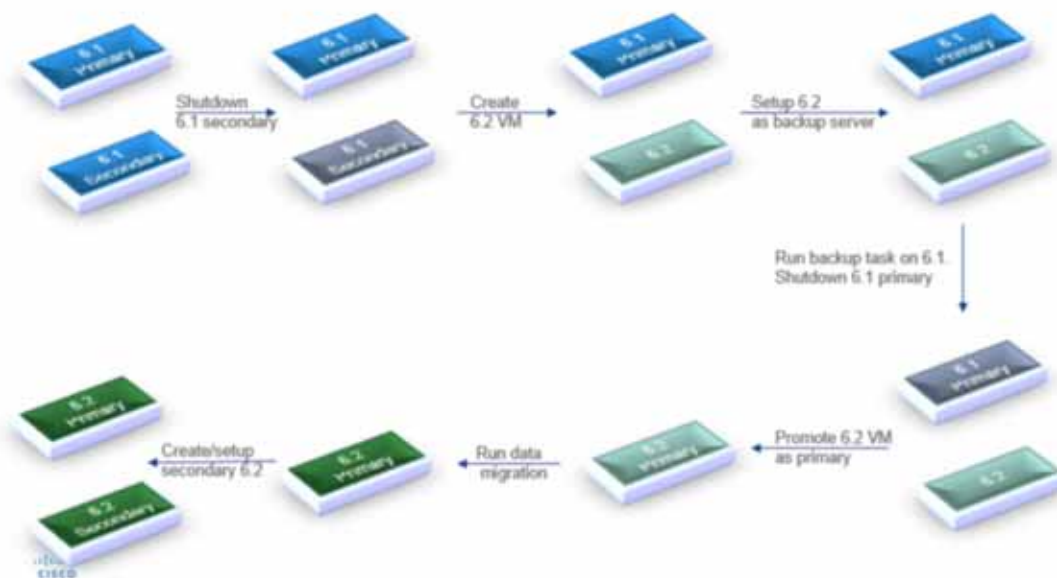
必須: リリース 6.1 からリリース 6.2 へのデータの移行

- いずれかのマシンが、リリース 6.1 SPn を実行する確立された Cisco Vision Director サーバである。
- 6.2 のフル ISO ファイルがある(取得方法については最初の注記を参照)。

図 1(17 ページ)に、インストール フローを示します。この手順では、以下を想定しています。

- リリース 6.1 プライマリ、セカンダリ(P1、S1) VM サーバ
- リリース 6.2 プライマリ、セカンダリ(P2、S2) VM サーバ

図 1 2つの仮想マシンを使用したリリース 6.2 のインストール



重要: 開始する前に、再生証明レポートを生成してダウンロードしてください。

注: 完全なインストールが完了したら、NTP とタイムゾーンを設定します。『[Release 6.2: Cisco Vision Dynamic Signage Director Administration Guide](#)』を参照してください。Dynamic Signage Director をリブートします。

再生証明レポートを生成するには、次の手順を実行します。

1. Dynamic Signage Director リリース 6.1 にログインします。
2. [Tools] > [Control Panel] > [Setup] > [Proof of Play] に移動します。

動的な看板 Director リリース6.2 の完全なインストールの実行

3. リリース 6.1 と同じメモリ プロファイル(標準構成または小規模構成)を使用して設定します。

Dynamic Signage Director リリース 6.2 でのリモート アクセスの有効化

4. DSD TUI にログインします。[Main Menu] > [System Accounts] > [Change installer password] に移動します(図 2 (18 ページ))。

必須: リリース 6.1 からリリース 6.2 へのデータの移行

図 2 TUI でのインストーラ パスワードの変更

```
-----
Main Menu > System Accounts

Please choose one of the following menu options:

a) Enable/Disable TAC user
b) Enable/Disable privileged accounts via remote access (ssh)
c) Enable/Disable all users created by the TAC user
d) Change installer password
e) Enable/Disable Backup user
f) Change MySQL password
g) Change admgr password
h) Change admin password
i) Change JHX password
R or < or ,) Return to prior menu
```

5. パスワードを選択して保存します。Cisco TAC の担当者がこのパスワードを取得することはできないため、必ず書き留めてください。
6. [System Accounts] メニューで、[e] Enable/Disable Backup user を選択します。画面に表示されるプロンプトに従って、プライマリ システムから使用するバックアップ ユーザ キーを設定します。
7. [System Accounts] メニューで、[b] Enable/Disable privileged accounts via remote access (ssh)] を選択します([図 3 \(18 ページ\)](#))。

図 3 リモート(SSH)での特権アカウントの有効化/無効化

```
-----
Main Menu > System Accounts > Enable/Disable privileged accounts via remote access (ssh)

Please choose one of the following menu options:

a) Enable privileged accounts over remote (ssh)
b) Disable privileged accounts over remote (ssh)
R or < or ,) Return to prior menu
```

注: データ移行が完了したら、セキュリティ強化のために、この画面に戻ってリモートアクセスを無効にしてください。

Dynamic Signage Director リリース 6.2 のセカンダリ サーバとしての設定

作業を簡単にするために、Dynamic Signage Director リリース 6.2 のサービスを停止します。

8. TUI のメイン メニューに移動します。[c] Services Control] > [i] Dynamic Signage Director Services] > [a] All] を選択します([図 4 \(18 ページ\)](#))。

図 4 Dynamic Signage Director のサービスの停止

```
-----
Main Menu > Services Control > Dynamic Signage Director Services > All

Please choose one of the following menu options:

a) Show Status
b) Start Service
c) Stop Service
R or < or ,) Return to prior menu
```

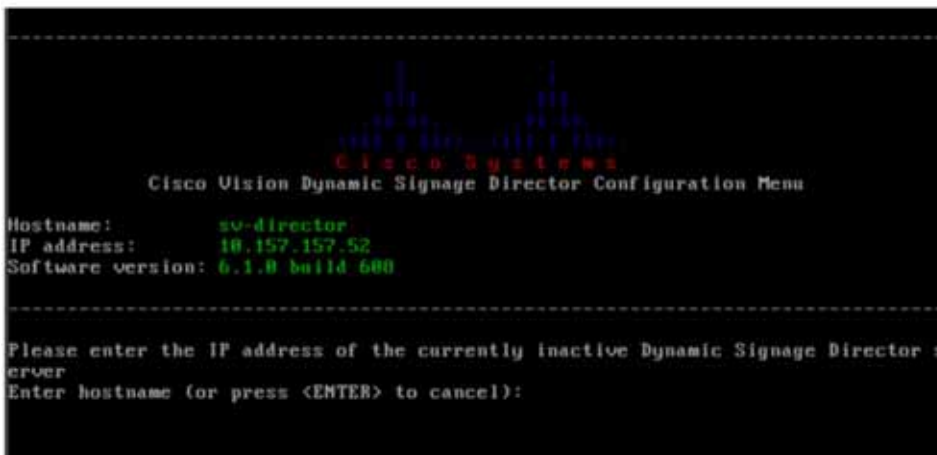
9. [c] Stop Service] を選択します。

必須: リリース 6.1 からリリース 6.2 へのデータの移行

Dynamic Signage Director リリース 6.1 でのバックアップ サーバの設定

10. Cisco Vision Director TUI を使用して、インストーラとして DSD リリース 6.1 にログインします。
11. [Main Menu] > [Cisco Vision Server Administration] > [Setup automatic backup and restore] に移動します。
12. 非アクティブな DSD サーバを使用し、DSD リリース 6.2 サーバの IP アドレスを入力します([図 5 \(19 ページ\)](#))。

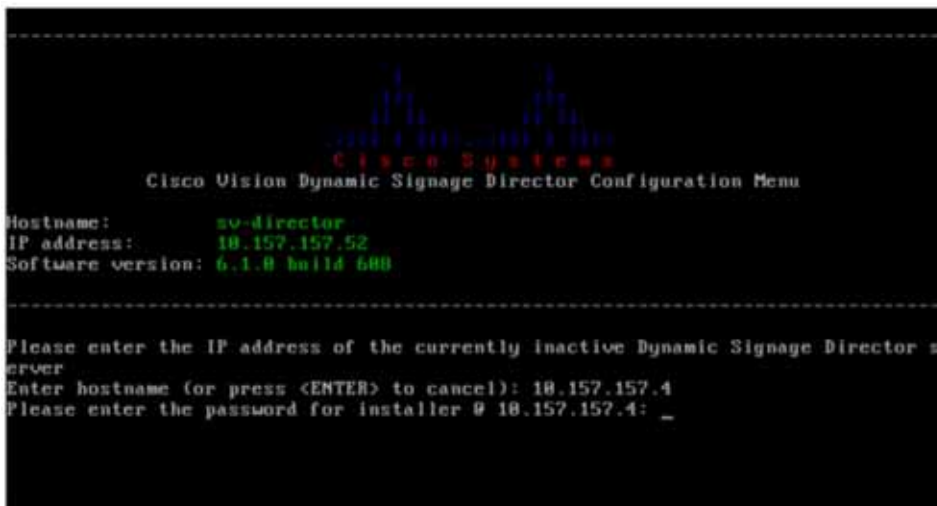
図 5 DSD リリース 6.2 の IP アドレスの入力



バックアップサーバのインストーラパスワードを入力するように求められます。

13. ステップ 5 で設定した DSD リリース 6.2 のインストーラパスワードを入力します([図 6 \(19 ページ\)](#))。

図 6 バックアップサーバのインストーラパスワードの入力



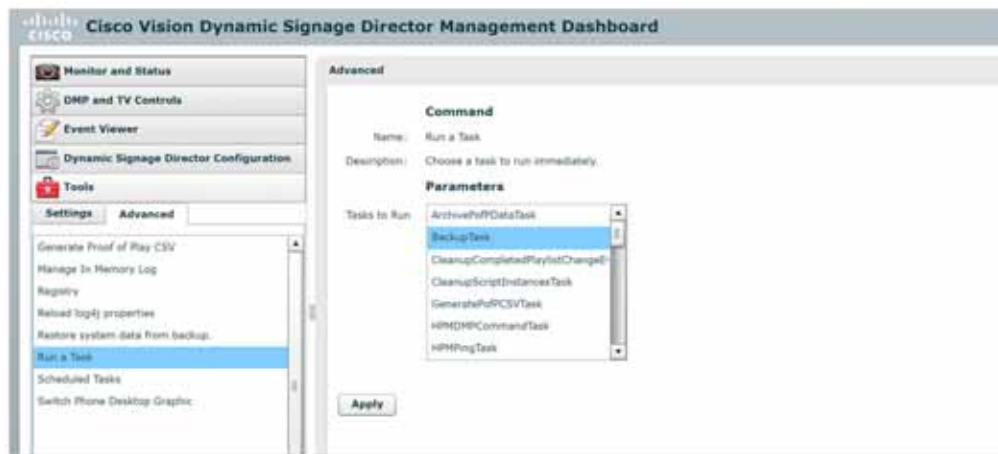
これには数分かかります。設定が完了するまで待ちます。

必須: リリース 6.1 からリリース 6.2 へのデータの移行

DSD リリース 6.1 でのバックアップの生成

14. DSD リリース 6.1 に管理者ユーザとしてログインします。
15. [Tools] > [Management Dashboard] > [Tool] ドロワ > [Advanced] タブ > [Run a Task] に移動します。
16. 右パネルの [Parameters] フィールドで、[Backup Task] をクリックします([図 7\(20 ページ\)](#))。
17. [Apply] をクリックします。バックアップが完了するまでに時間がかかる場合がありますが、[Apply] は複数回クリックしないでください。

図 7 バックアップタスクの実行



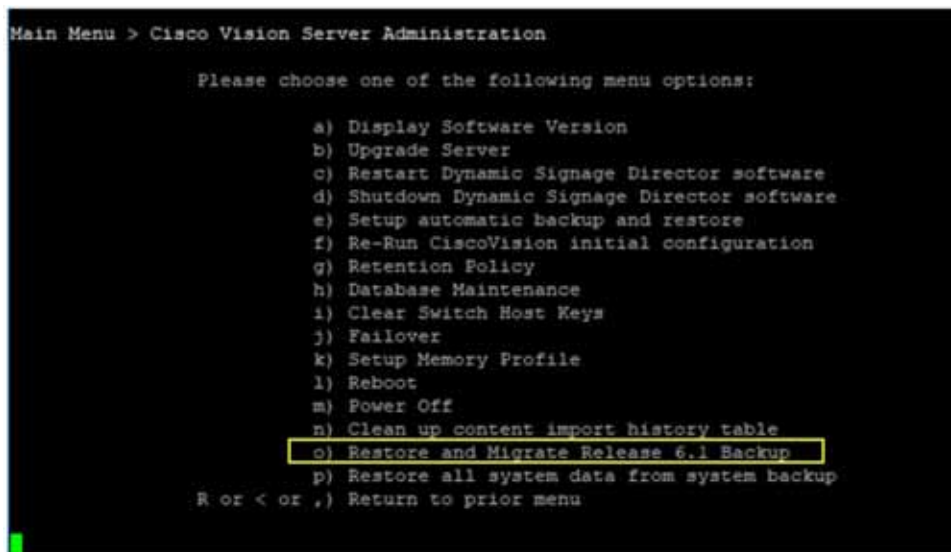
注: バックアップ タスクが完了するまでにある程度の時間がかかることがあります(特にコンテンツが大量の場合)。

DSD リリース 6.2 サーバでの DSD リリース 6.1 バックアップ サーバの復元と移行

18. Cisco Vision Director TUI にログインします。
19. [Cisco Vision Server Administration] の **d** を入力します。
20. [Restore and Migrate Release 6.1 Backup] の **o** を入力します([図 8\(21 ページ\)](#))。

必須: リリース 6.1 からリリース 6.2 へのデータの移行

図 8 リリース 6.1 バックアップの復元と移行



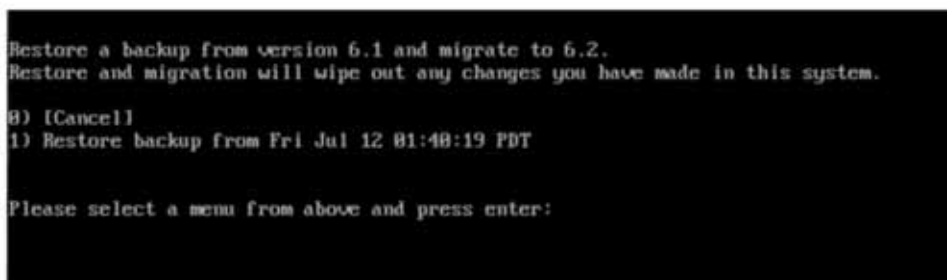
注: 移行が開始されたら、移行が完了するまでキーボードのキーを押さないでください。

注: 復元操作は一度だけ実行できます。

重要: 表示されている唯一のオプションが 0 の場合は、バックアップが実行されない可能性があります。

21. DSD リリース 6.2 へのバックアップと転送が完了すると、オプション [1] が表示されます。[1] オプションを選択します (図 9(21 ページ))。

図 9 オプション 1: バックアップの復元



22. Y を押してデータの復元と移行を開始します (図 10(22 ページ))。

必須: リリース 6.1 からリリース 6.2 へのデータの移行

図 10 リリース 6.1 からの復元およびデータのバックアップとリリース 6.1 への移行プロセスの開始

```
Restore a backup from version 6.1 and migrate to 6.2.
Restore and migration will wipe out any changes you have made in this system.

0) [Cancel]
1) Restore backup from Fri Jul 12 01:48:19 PDT

Please select a menu from above and press enter: 1

Restore and migrate a 6.1 backup (sv-6.1.0.680-28198712814819-8788.tar).
Do you want to continue?
PRESS Y TO CONTINUE, PRESS N TO CANCEL
```

23. プロセスが完了するまで待機します。図 11(22 ページ)のような画面が表示されます。

図 11 復元とバックアップの完了

```
Restore a backup from version 6.1 and migrate to 6.2.
Restore and migration will wipe out any changes you have made in this system.

0) [Cancel]
1) Restore backup from Fri Jul 12 01:48:19 PDT

Please select a menu from above and press enter: 1

Restore and migrate a 6.1 backup (sv-6.1.0.680-28198712814819-8788.tar).
Do you want to continue?
PRESS Y TO CONTINUE, PRESS N TO CANCEL
Y

Restoring from backup sv-6.1.0.680-28198712814819-8788.tar

This could take some time. Please wait.../bin/rm: cannot remove '/var/log/semulupdate.log': No such
file or directory

Please reboot this DSD server for all changes to take effect.Press any key to return._
```

24. DSD サーバをリブートして変更を保存します。

DSD リリース 6.1 サーバのシャットダウン

25. DSD リリース 6.1 TUI の [Main Menu] > [d] Cisco Vision Server Administration] に移動します。

26. [m] Power Off] を選択します。

DSD リリース 6.2 をプライマリサーバとしてセットアップする準備

27. Cisco Vision Director TUI で [Main Menu] > [a] System Settings] > [a] Network Settings] に移動します。

28. [a] Setup Network Information] を選択します。

29. DSD リリース 6.2 の IP アドレスを DSD リリース 6.1 の IP アドレスに変更します。

30. [d] Generate certificate file] を選択します。

注:Dynamic Signage Director リリース 6.2 のセカンダリサーバとしての設定(18 ページ)ですでに DSD リリース 6.2 をセカンダリ/非アクティブとして設定しているため、DSD リリース 6.2 をプライマリ/アクティブサーバに昇格させます。

31. [Main Menu] > [d] Cisco Vision Server Administration] > [j] Failover] > [a] Promote as Primary/Active] に移動します (図 12(23 ページ))。

図 12 DSD リリース 6.2 サーバのプライマリへの昇格

```

Main Menu > Cisco Vision Server Administration > Failover

Please choose one of the following menu options:

a) Promote as Primary/Active
b) Configure as Secondary/Inactive
R or < or ,) Return to prior menu

```

32. [Main Menu] > [d) Cisco Vision Server Administration] > [l) Reboot] に移動します。

33. すべてのシステム検証を実行します。

DSD リリース 6.2 セカンダリ サーバの設定

注: 導入環境にセカンダリ サーバがない場合は、この手順をスキップしてください。

34. 新しい VM で DSD リリース 6.2 のフル インストールを実行します。DSD リリース 6.1 セカンダリ サーバと同じ IP アドレスを使用します。『Cisco Vision Administration Guide, Release 6.2』の「Changing the IP Address on the Secondary Server」を参照してください。
35. TUI を使用して DSD リリース 6.2 サーバをセカンダリ サーバとして設定します。『Cisco Vision Administration Guide, Release 6.2』の「Starting and Configuring the Services on the Secondary Server」を参照してください。
36. リリース 6.2 プライマリ サーバで TUI を使用して、DSD リリース 6.2 セカンダリ サーバをポイントするように自動バックアップと復元を設定します。『Cisco Vision Administration Guide, Release 6.2』の「Setting up the Primary Server for Automatic Backup and Restore」を参照してください。

ブラウザからの DSD リリース 6.2 サーバへのアクセス

37. ブラウザのキャッシュをクリアします。
38. ブラウザのアドレス バーに DSD リリース 6.2 の IP アドレスを入力します。
39. Return(Enter) を押します。

インストール作業

注: このセクションには、サーバに Cisco Vision Dynamic Signage Director を新規インストールするタスクが含まれています。

サーバに Cisco Vision Dynamic Signage Director を新規インストールするには、次のタスクを実行します。

- Cisco.com からの ISO ファイルのダウンロード(23 ページ)(必須)
- 次の作業(24 ページ)(必須)

Cisco.com からの ISO ファイルのダウンロード

適切なライセンスを購入すると、Cisco Vision Dynamic Signage Director の完全な ISO ファイルにアクセスできるようになります。ISO ファイルのダウンロード方法の詳細については、シスコ テクニカル サポートにお問い合わせください(表 1 (24 ページ))。

注: SV-DIRECTOR 用の ISO を選択してください。

次の作業

表 1(24 ページ)に、Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバの完全な ISO イメージに使用されるファイル名の表記法を示します。

表 1 ISO ファイル名の表記法

ファイル名の表記法 ¹
■ SV-DIRECTOR-FULL-6.2.0-579.x86_64.iso
■ SV-DIRECTOR-FULL-6.2.0-579.x86_64.iso.md5sum
■ SV-DIRECTOR-FULL-6.2.0-579x86_64.iso.sha512sum

1. 「579」は、ファイルのイメージのビルド番号を表します。

CIMC インターフェイスにログインしたら、アクセスできる場所に ISO ファイルをダウンロードします。

ダウンロードからアップグレード ファイルの整合性を確認するには、ラップトップでコマンドラインまたは GUI ユーティリティを使用して、.iso ファイルでチェックサムを計算します。.sha512sum ファイルを開いて、計算した値と .sha512sum ファイルで提供される予測値を比較します。値は一致している必要があります。一致していない場合は、ダウンロードを再試行します。

CIMC インターフェイスへのログイン

注:CIMC インターフェイスにログインするには、[Cisco.com](https://www.cisco.com) でこのドキュメントの以前のバージョンを参照してください。すべての要件と手順を確認できます。

次の作業

Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアをインストールしたら、次の手順を実行します。

注:DMPの初期導入については、『[Cisco Vision Deployment Guide for Digital Media Players: Dynamic Signage Director, Release 6.2](#)』の手順に従ってください。

- DMP ファームウェアをアップグレードします(必須)。
 - DMP ファームウェアのアップグレード(43 ページ)を参照してください。
- 『[Release 6.2: Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director](#)』の「[Configuring Cisco Vision Director Server System Settings](#)」モジュールを参照してサーバの初期設定を完了し、次の手順を実行します。
 - SSL 証明書を生成します(リリース 6.2 では必須)。
 - Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバの NTP と DMP を設定します。
 - DMP の NTP と PTP を設定します。

注:デフォルトでは、すべてのメディア プレーヤーが NTP ソースとして Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを使用します。DMP で PTP を使用する場合、PTP マスター デバイスのみが NTP ソースを参照します。DMP で使用される NTP ソースを変更するには、DMP のグローバル設定を変更します。

- Cisco Vision Dynamic Signage Director のマルチキャスト ポートを設定します。